

平成25年度第2回放送番組審議会 議事録

- 開催日時 平成26年2月24日(月) 14時から15時10分
- 開催場所 三次商工会議所 2階会議室
- 出席者委員 元泉園子(会長)・添田龍彦(副会長)・元廣修・岩本智建・宗清弘樹
湯藤浩康・重信富子・前田茂・岩崎積
- 欠席者委員 岡崎羊子・田村眞司
- 説明員 (株)三次ケーブルビジョン
田坂代表取締役社長・新宅常務取締役・山光部長・野田制作課長
幸住管理課長補佐・坪井管理課長補佐・津田制作課長補佐
- 1 開 会 定刻になり事務局幸住が開会を宣言する。
- 2 社長挨拶 つづいて、代表取締役社長が開会にあたって挨拶する。
- 3 会長挨拶 元泉会長が挨拶を行い、本日は身近なテーマでもあるので、活発な意見をいただき、今後の番組作りに役立ててほしいと述べた。
- 4 審 議 審議に先立ち、制作課長が昨年4月から放送している、年間企画 特集「まちかどかわらばん」について、企画意図並びに企画内容を説明し、昨年9月から12月までに放送した18地域の中から『第2回まちかど大賞』を受賞された上・下志和地町の1週間の放送を16分にまとめたダイジェスト版DVDを上映する。
- 会 長 DVDを参考に、番組内容について忌憚のない意見を願います。
- 委 員 この番組は、大変身近に感じる内容で、地域でも放送時間がきたらチャンネルを合わせるといふ人も増えてきた。非常によい内容だった。
- 委 員 DVDを見て、身近な内容で地域のことを改めて知ることができ、大変参考になった。

- 委員 (この番組に) 知った方が何人も出られて、身近に感じる事ができた。先日放送された、君田町の西入君地区の放送では、区長さんが地域で取り組んでおられることを紹介されていた。車いすランナーの方や、お寺の取組みなど地域作りのヒントになることもたくさんあると感じた。この企画は地域のことをよく知ることができる貴重な番組だと思った。審議会の前に、審議委員に事前に会議のテーマになる特集番組の案内をしていただけると、もっと意見が出せると思う。
- 委員 放送の冒頭に、取り上げる地域の場所を示すマップのようなものがあれば良かった。細かい地名がわからない時がある。
- 委員 地元のイベントや歴史、人物の紹介など構成がいい。一つ希望を言えば、良いスポット、必ず行ってみたい場所を取り上げていただけたらいいなと思う。仕事柄、出演された方によく出会うのだが、皆笑顔で楽しそうに出演された時のことを話される。企画意図にあるように「出ている側も見ている側も楽しめる」番組になっていると思う。
- 委員 市内全てを知っているわけではないが、この番組を見れば地域のことがコンパクトにまとめられていて良い。農業中心の地域活性化に取り組んでいるが、他の地域の方のヒントにもなり、JAも助かっている。
- 委員 三次のケーブルテレビの存在意義は、地域密着の放送ができることだと思う。現場に出て生で取材し、編集する。市の広報番組も最近では、スタジオだけでなく、現場で収録することがある。画像で見えるものの中に、文化や伝統・生活など深いものが見える。こうしたことを続けていけば、番組内容が更に進化していくと思う。番組を深く掘り下げたり、ポイントを絞るなど工夫も必要だ。こういった報道が、市民の力を引き出していくと思う。市民が主役となって、表に出ることが効果を高める。市の総合計画と合致した中身になっているので、これからもどんどん進めていってほしい。
- 委員 三次に長く住んでいて、よく知っていると思っていたが、番組を見てみると、知らなかったことが結構あった。各地域で様々な取り組みをされているので、参考になった。
- 会長 (他市から来たので) 市内全てを熟知している訳ではなく、本日の上・下志和地町は特に知らなかった。市内での位置関係、地域の場所が判れば良かったと

思う。番組を見た方が、その地域に足を運び、特産品を買い求めることにつながっていくべきだと思う。それが可能な番組作りをしてほしい。特産品を手にするには、どこに行けばよいのか、どのようにして行けばよいかも紹介すればよかった。田楽も紹介されており、他地域の田楽グループとの交流に発展すればよいなあと思った。それがこういう番組の果たす役割なのではないかと思う。ほかに、要望や意見はないでしょうか。

委員 地域の消防団の組織について紹介してはどうだろうか。安否確認の取組などの紹介もあったらいいと思う。

委員 市の防災計画では、自主防災組織の立ち上げが前提になっている。自主防災組織と消防団、消防隊員の3者が協力することが不可欠。市内の全地域で組織が立ち上がる目途がついた。先進的な地域を取り上げてよいのではないか。ケーブルテレビ独自で取り上げるか、市の広報番組で取り上げるかは判らないが、タイムリーな内容で紹介してほしい。

委員 審議委員としての役目を果たすためには、事前に審議内容を知っておくべきだと思う。年度当初に、番組の方針とか年間放送計画を知っていて、審議委員として番組を視聴することが必要だと思う。審議会の案内をもらった都度、そこだけを視聴するのでは本当の審議にはならないと思うので、事前に審議内容の案内をお願いしたい。

会長 是非、早い段階での案内を検討していただきたい。

委員 「まちかどかわらばん」では、ゲストが出演して地域のPRをしているが、その季節に合わせた番組内容にするか、1年を通した内容にするかでPRの仕方も変わると思う。うまくPRしてほしい。

委員 視聴者からの反応はどの程度あるのか。電話やハガキなどの意見や感想がわかれば報告してほしい。

社側 昨年、自主放送番組のアンケート調査を実施したところ、回答者の70%が「まちかどかわらばん」を視聴されている結果が出て、心強く思っている。先程の場所については、月曜日の冒頭に「どんなまち？」ということで、三次市を表す地図の中での位置を示している。『まちかどマップ』を作って紹介したりもしている。

- 社 側 当社は、いかに市民に密着するか、いろいろアイデアを出し合い、この1年挑戦してやってきた。まだ取り上げていない地域もあるので、全部取り上げるには3年くらいかかるだろう。これはただ単に、当日放送するだけでなく、5年後、10年後、あるいは40年後にそのまちがどう変わっていくかという、非常に貴重な資料映像にもなるので、将来の三次地域の歴史を振り返る意味でも大切に貴重なVTRになるだろうと思っている。こういう蓄積が、我が社に課せられた大きな課題だと思っているので、そうしたことも考えながら取材をしている。本日、お聞きしたご意見は、ますます今後の番組作りに反映していきたいと考えている。
- 委 員 取材の計画を、もう少し早く、各地域に知らせてもらえないだろうか。いきなり聞いても、地域によっては戸惑うことが多いので、極力早く知らせてほしい。
- 社 側 現在は、3ヶ月ごとに計画を立てて進めている。5名のスタッフで順番に回っているのですが、早くお話しできる地域は3ヶ月先で動いている者もいる。中には、すぐに内容が決められずにギリギリになって、地域の方にご迷惑をおかけしているところもある。なるべく早く、地域の代表様のところに相談に伺うようにしているが、更にスピードアップさせたい。
- 社 側 (余談になるが) 先日、東京で番組研修会があり、ローカルな映像が外国の人に受けているという報告があった。地域のこういう映像を外国に販売するルートもできているという内容だった。この映像を外国の人に見ていただければ、三次にたくさんの外国の方が来るきっかけになる。そういうことにも挑戦したいと考えている。
- 委 員 先程のDVDのなかで、地名の由来紹介があったのは良かった。地名に興味があるので、そういう説明があるのは大変参考になった。
- 会 長 視聴者の方に興味を持っていただけたことは、大変良かった。興味を持つことで、地域のことをより深く知りたいと思うので、深く知ることができる番組であればよいと思う。
- 委 員 映像は見てもすぐに忘れてしまう。文章で残すことは考えられないだろうか。
- 社 側 以前は番組ガイド誌を作っていたので、番組と連動するところで、文章を作り映像にするということもしたが、現在は誌面という媒体はないので、映像とし

て残している。

- 委員 映像の販売は、考えていないのか。
- 社側 お世話になった地域の方に、資料という意味で、DVDにまとめて差し上げることはあるが、販売はしていない。
- 会長 そのDVDを図書館で視聴できるということも、将来的にはどうだろうか。
- 社側 今のところ、そのようなことは考えていない。そういう要望があれば、検討していく。
- 委員 三次市も合併10周年で記念のDVDを作成しようとするなら、三次ケーブルビジョンが保存している映像を使って、作成することも考えられる。会社発足前の時もあるので、そこは民放さんをお願いして集めることを検討している。これからは、映像が保存されていれば、色々な切り口で整理して、三次地域のものができればいいと思う。
- 社側 今言われたようなライブラリーの活用は、我が社の命運を握っている。現在、過去のライブラリーを整理しながら、一定のハードディスクに保存しつつある。出来上がったら、いつでもすぐに映像が取り出せる状況になる。活用方法については、新たな番組をVTRで作成したり、過去のデータとして、いつでも見ることが可能なオンデマンドの形にするといったことを、将来的には考えていきたい。経費がかかるので、利益と費用を十分に検討しながら、実行していきたい。いずれにしても、我が社にとっても、三次市にとっても大いなる財産になることは確かだろう。
- 会長 本日も、たくさんのご意見をいただけて大変意義深い審議会になった。感謝申しあげる。これらのご意見が今後の番組作りに大いに活かされると信じている。是非これからもいい番組をどんどん作っていただきたい。皆さんの一言、一言が番組作りを支えていると思う。これからも真摯なご意見をいただける場であってほしい。これで放送番組審議会を終了する。
- 5 閉 会 事務局が本日のニュース番組「情報ストリート、あっちこっち三次」で、この審議会の模様を放送し、議事録をHPに掲載することを伝え、閉会した。